

### 【意見】

これはどの消防団でも問題になっていると思いますが、幽霊（出席しない）団員についてのご相談です。

沼田市の消防団では、年俸の他に退職金みたいなものもあると聞いております。私は現役の沼田市消防団員ですので退職金については詳しくないのですが、何年もまともに消防団活動していないのに退職金が出ることで自分自身おかしいので、沼田市としても調査した方がよいと思います。

また、消防団の部によっては地域外からの消防団員もいると思います、これについては働いている地域や条件や出身地等の事情はあると思いますし、実際わたしなどは現場が遠い場合消防団活動できないこともありますので、地元にいる人で火事場などは対処しているのが現状です。

幽霊消防団員の中には、いても出てこない人もいます。また、消防団員の勧誘に行きますと本人では無く親に断られるケースがほとんどです。区に何とかしてもらいたいと言う気持ちもありますし、人手不足の中で地元にも居ても出席しない・入団しないのは、入団して一所懸命やっています我々と平等といえますでしょうか？

仕事が忙しいのはみんな同じ条件ですし、良い年の時期（子育て世代）に消防団に入団しているのだからみんな一緒です。

強制ではありませんが、同年代で入団している人と、していない人の差があまりにもひどいので、投稿させて頂きました。日本で1番多いと言われていています公務員組織です。沼田市の消防団です。何とかしようじゃありませんか？

ちなみに私が所属しています部は、今度上記のことについて総会を行う予定です。沼田市様に、良い知恵がありましたら総会までにご指導よろしく願いいたします。

男：30代：市内在住

### 【回答】

退職報償金については、消防団員の多年の労苦に報いるために、階級ごとに2年以上5年未満勤務した場合は「沼田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例」の、5年以上勤務した場合は「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律」の規定により支給されます。

さて、現在の消防団を取り巻く課題は、ご指摘のとおり若年層の人口減少や被雇用者の増加、地域住民の理解不足、コミュニティ機能の低下による地縁を活用した募集の限界などが全国的に挙げられます。

その反面、大規模災害はいつ発生するかは分からず、災害時における消防団員の役割は大変重要なものになっているため、全国各地域では被雇用者・女性など幅広い地域住民が参加しやすい環境づくりのほか、団員間で団員活動を分担し個々の負担を軽減したり参加活動を限定するなど、様々な取り組みが行われています。

本市としては、消防団の役割や活動をさらに市民や事業所等に理解していただくために、広報活動を重点に進めていきたいと考えています。それと合わせて、消防団を取り巻く環境は地域により異なることから、消防団と地域の方との意見交換などが必要と考えています。

消防団役員会では各分団・各部の課題を協議をしながら、今後の進め方などを検

討してまいりたいと思います。

担当：総務部防災対策課消防係